

# てらこや

平成 26 年  
7 月 23 日 (水)  
大智院

## おやくそく

- 一、あかるいあいさつ げんきなへんじ
- 二、きたときよりも うつくしく
- 三、よくかんがえ すすんでまなぶ

## 読書で広がる、みんなの世界

### 『読書推進講座』 参加者のみなさんの感想

・小学校で一〇年、朝に読み聞かせをし、今は、保育園でパートで時々読んでいますが、「なぜ、読むのか？」の問いに、「自分が好きだから、楽しいから」だけでした。これ以上でもこれ以下でもないとは思っています。楽しさを子どもたちと共有できれば…と思います、むしろ自分のために読んでいるような状況です。来年もきたいです。

小林 敏恵

・読み聞かせのボランテアをしています。今まで、「子ども受けのいい本」を探していたことをお話を聞いて反省しました。面白い本だけでなく、ストーリー性のある本にも挑戦したいと思います。自分が小さい頃に読んで記憶に残っている本は昔話が多いので、そういうことを思い出させていただきました。ありがとうございます。

北原 ひとみ

・実際にあつたエピソードや本を紹介していただき、とても参考になりました。自分の子どもや地域の子たちと本をつなげる役割がもつとできたらいいなと思います。

小原 真理子

・今日は、広瀬先生の貴重なお話をたくさん聞き、とても勉強になり、充実した時間を過ごすことが出来ました。これからの学校の子どもの読聞かせの際にいかしていききたいと思います。ありがとうございます。

田中 直子

・子どもと絵本をつなぐ存在として、まずは自分自身の引き出しを豊富にし、絵本を通して伝えたいことを整理し、子どもとともに絵本の世界を楽しんでいきたいと思っています。

森田 華江

・今は亡き父母に、子どものころ毎日、読み聞かせをしてもらっていたことを思い出し、空想の世界が大好きな自分の原点を改めて、知った気がしました。大人になって、教師という立場で、読み聞かせをすることがありますが、読み聞かせをした後は、必ずその本をしばらく教室に置いておけるように心がけています。今日のお話の中にも、そのことが出てきたので、よかったです。自分の好きな本や気に入った本を少しずつ買って、自分の教室の学級文庫に置いていますが、その本がこれからも増

えて、子どもたちの心に少しでも残っていくようにしていきたいと思います。

梶野 茂子

・今日の広瀬先生のお話は、自分の活動(図書館の読み聞かせボランテア)に非常に役に立ちました。私も、どちらかというところ「うけよう」と思って本を探しているように思っています。退屈させないのも大切ですが、心にしみる、良い本を探していきたいと思っています。

吉川 徳子

・とても勉強になりました。自分の好きな本や子ども好きな本の中には、長く語り継がれる本が、多くあることに改めて素敵な本の魅力は変わらないものなんだなと実感しました。一方で、情操を育むということと無関係に(音の出る本など)音声で、映像で、子どもたちを引き付けようとする本などが増え、それが当たり前のように、書店の一番目につくところに並んでいることに、危惧も感じています。良い本、素晴らしい本を広めていくことがもつとできたらいいなと思います。自分もそんな活動ができればいいなと思っています。

西古 令奈

・貴重なお話しをありがとうございます。よく「前見た(本)だから違うのがいい」という子がいます。読み方を工夫したり、自分も楽しんで読み聞かせをしたりしていききたいと思います。来年も機会があれば参加させていただきます。ありがとうございます。

林田理沙

・今年度、旭北小での読み聞かせボランテアの代表をしていただくため、初心者の方への参考になるようなお話が聞けてよかったです。特に本の選び方など、まとめ、入会した方へお伝えしたいと思っています。ありがとうございます。

海津仁美

・エピソードを交えてのお話、とても心に沁みました。質問に対するお答えも勉強になりました。ハプニングに対処する力も身に付けたいと思います。ありがとうございます。もつと多くの人に参加して欲しいです。

荒木利子

・困難にぶつかったときに、想像できる力、乗り越える力—この言葉が心に残りました。逆境力(レジリエンス)こそ、今の子どもたちに身に付けて欲しい力です。ありがとうございます。来年は、実演をお願いします。

江端靖代

・読み聞かせも、自分達がしているお笑いも同じ表

現するという事なのでお笑いに通じる、ヒントをたくさんいただけただけのように感じました。ありがとうございます。シンポジウムR新井祐司(ユーチン)

・絵本もお笑いと同じように人前で、披露するものなのでつかみがあったり、聞き手が聞いているようなテクニクがとても共感できた。僕は、「うける」「うけない」に関して言えば気にするタイプです。

シンポジウムR渡辺伸之

・幼少期に就寝前によく母親が毎日のように絵本を読んでもくれる、幼い頃から絵本に触れることが多かった。その為か、小中学校の時には国語の教科書の音読の宿題を欠かす事なくやり、今でも週一程度で本を読んでいる。先生の話聞いて当時を思い出し、読み聞かせをしてくれていた母親に感謝し、次世代にも伝えていきたい。

鈴木 慎之

・小学校と図書館で読み聞かせをしています。ついっい、うけるかどうかを気にして、おもしろい本を選んでしまいます。でも、せっかくの読み聞かせなので、普段子供が選ばないような長めの話やメッセーじ性のある本や昔話を読むのもいいなと思いました。私の好きな本は架空の世界で動物や物との心の交流がある物が好きです。絵本ならではの世界に入りこむことが好きです。自分が出会った不思議な世界、楽しい世界を体験してもらいたくて読み聞かせを続けています。今後の課題は、読み聞かせをする中でテーマ流れ、順番を考えながら選書することです。特別支援級でも読み聞かせをしているので、ちょっと落ち着かないクラスでも、楽しく、少しでも長く集中してもらえよう工夫したいと思いました。

山口 知加

・ボランティア活動の読み聞かせについてのポイント、大切な事など分かりやすくお話されました。今後の活動に大いに役立ちました。「子どもの頃の読書活動は豊かな人生への第一歩」を心に置いて今後役に立っていきたい。どんな本がよく読まれているか(リスト)来年教えてください。(紙芝居も含めて)

鶴田 タエ子

・本日はよいお話を聞かせていただき、ありがとうございます。お話の後の質問のところで、先生が、「継続は大きい。積み重ねで(子どもの聞く姿勢・態度も)変わってくる。」とお話しされました。私の日々の実践の中でも同じようなことを感じております。子ども達が話が聞ける、読み聞かせのお話が聞ける、ということを目指してこれからも努力したいと思っております。本日はありがとうございます。

山下 直丈

・保護者の立場で参加させていただきました。ふだん忙しくなかなか子供に絵本を読んであげれる時間、気持ちの余裕がなくなってきた頃、子どもに申し訳ない気持ちがありました。今日、聞いた話は全て興味深く、

とても参考になりました。子ども「に」でなく、子ども「と」一緒に楽しむという気持ちで、もう一度生活を見直し、絵本を楽しむ時間を復活させたいと思いました。このような機会をいただきありがとうございます。

岸本 和子

・私もマララさんの演説の力強い口調にとっても感動した一人です。図書館のボランティア以外に小学校の放課後子ども教室で月に一回一時間弱ひとりで担当し読み聞かせをしています。毎回ある程度テーマ性を決めて子どもたちに伝えたいことを(自分を大切に)・「平和」・「仕事」などを絵本を通して感じてくれたらと思いつけてます。本日、先生に伺った「子ども『に』より子ども『と』」ともに楽しむことをいつも忘れないで行こうと思えます。本日はありがとうございます。

小林 玲子

・知多市の図書館の読み聞かせのボランティアを二十年ほどしています。でも、もう下り坂です。残念ながら……暗い性格なので、面白い本を読んでいます。「絵本は読み聞かせなので、淡々と読みます。」と言われました。今でもたくさん講師の方にも言われましたが、私は思いつきはじめて声色を変えて読んでいます。自己流ですが……でも先生の言われたように絵本選びには、時間をかけています。勉強になる話しをありがとうございます。今日一日楽しかったです。

ノミの心臓 安岡 恵美子

・いくつか、紹介された本を読んでみて、自分にぴつたり合えば、読み聞かせしたいと思った。うらしまたろうは、大人向けの絵に感じたが、高学年の子に読み聞かせると小さい頃聞いた話との違い、絵の雰囲気から、豊かな思いが出てくると思う。

・楽しいお話をありがとうございます。絵本についていなあ〜と思ってくれる子供たちが増えること、読み聞かせをしながら子どもたちと楽しんでこれからのこころと思っております。

・子どもに対しての目線が優しいです。落ち着かない子がいるのは、当たり前。そうです。その通りです。先生が持つていらした本、読んでみたいです。先生が新聞に載せておられる本はとても参考になります。本は、とても好きです。だから、伝えたいと思います。

・想像力を豊かにすることは、子供時代から作られるもの、「生きるための力」になるということを深く思いました。読書ボランティアを続ける為にとってもよいご指導に感謝。

・30年前、我が子と絵本を楽しんでいた私も、もうすぐ、孫とそれを楽しめるようになりました。当時、同じ本を何度も何度も読んで、字を見なくても親子で覚えてしまつて楽しんでいました。新しい本を見つけて、また、読み聞かせをしたいと思っています。